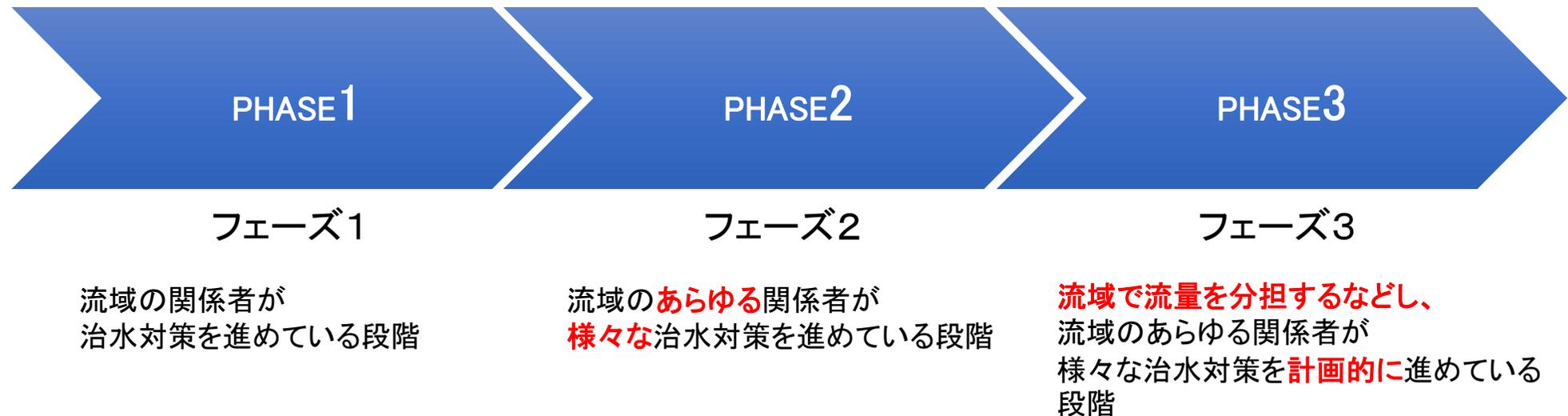


流域治水プロジェクトの充実に向けて

- 流域治水の進捗度を、「現在どのような段階にあるのか」を以下のとおり示すこととする。
- 一部水系を除き、基本的にはフェーズ1の段階とし、今後、各主体の取組内容の見える化、国等による各分野における支援制度や全国プロジェクトにおける取組事例等の情報共有、水害リスク情報の充実(河川管理者)などを進めながら、流域治水協議会の実施において情報共有等を行い、新たな治水対策に取り組むための検討を進めるなどし、フェーズ2を目指していく。
- さらに、現況の水害リスクや近年発生した浸水被害状況などを踏まえ、必要に応じてフェーズ3を目指していく。



《R6.3末時点》

○フェーズ3：2水系(手城川水系、本川水系)

○フェーズ2：4水系(黒瀬川水系、堺川水系、本郷川水系、山南川水系)

○フェーズ1：41水系(上記以外の水系)

※評価を行うにあたっては、明確な評価基準はありません。
積極的に様々な主体が多様な取組を行っているか等を総合的に判断しています。